

多品種小ロットで販路を拡大

埼玉県に関東営業所を開設

シバセ工業 マスコットキャラを作成

ストロー製造のシバセ工業（株）（浅口市鴨方町六条院中3037、磯田拓也社長、電0865・44・22115、<http://www.shibase.co.jp/>）は11のほふ、関東エリアなど東日本地区の

販路拡大のため、埼玉県さいたま市に関東営業所（久森 稔所長）を開設した。人口密度が高く、マーケットの大きい関東エリアを中心に、飲料、工業用ストローのほか、新たに取り扱いを始めた工業用手袋やトイレットペーパーの販売にも注力、販路を拡大する考えだ。

昨年10月、埼玉県内に営業所を開設し、東日本地区をエリアに、営業活動を活性化させている。海外製品が日本国内で流通するケースが多いが、同社は多品種小ロットや短納期生産で差別化、販路を拡大する方針だ。関東営業所の開設で、西日本エリアは本社で網羅し、今春には営業マンを1人採用した計3人体制で、全国を開拓していく。

一昨年10月、ダイヤストローにブランドを統一し、ジュースをストローで飲む子どものマスコットキャラクターを作成し、箱やカタログ、名刺に採用するなど、親しみ易いブランドイメージを、市場に向け浸透させている。関東営業所の新規開

設で、東日本エリアの営業担当者付き、商社などに向け、ニーズを取り込んだ営業を手掛ける。磯田社長は「大口顧客との取引を縮小し、小口の顧客を全国に増やすなど、会社の将来のため、リスク分散を図っている。飲料、工業用共に伸ばし、トイレットペーパーや手袋の販売も伸ばしていく」と話している。



ダイヤストローのマスコットキャラと磯田社長、右は社屋